



町長日誌 No.146

町長日誌の第146号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

12月15日(火) PM5:00

12月だと言うのに何時もに比べ「クリスマス商戦」が静かなように思われませんか？ 12月15日(火) PM5:00 でしょうか？ 私の勝手な思い過ぎしなのかもしれませんが、街中でもテレビなどでもイルミネーションなどの話題は聞かれますが、以前のようにあれもこれもクリスマス一色では無い様な気がします。その原因が何かは分かりませんが、10月31日に行われる「ハロウィン」の方が最近ではマスコミでの取り上げ方も大きく影響しているのでは？ と思えるのです。特にハロウィンは家族で仮装や特殊メイクなどを楽しむなどの傾向が強く、関連グッズはクリスマス以上と思われる。ただ、本町の基幹産業である酪農から生産される生乳の消費は今も昔も夏のアイスクリームとクリスマスケーキの売れる季節が大きなピークで、生クリームなどの大量消費を押し上げていますので、今後はハロウィンでも乳製品が売れる様な仕掛けが出来ればと考えています。

12月10日(木)

興部中学校石原邦彦校長先生が1枚のはがきを届けて下さいました。

『拝啓、初めてお便りさせて頂きます。9月1日PM5:40、札幌駅前にて「興部中学生です。興部は知っていますか？」と声をかけてもらいました。急いでいた為、短時間しか話を聞けませんでした。その後ゆっくり、苦勞して作成したパンフレットを読ませて頂きました。修学旅行で自慢の郷里を宣伝、紹介するなんて素晴らしく立派な行動を嬉しく思い感動しましたよ。20～30年後には、無人の車が走り、ロボットが介護をする時代になるとか……。若い君達は世界の正しい情報をしっかりとらえ、見すえ、変化に立ち向っていかねばなりません。複雑な社会生活で気持ちが疲れることがあるでしょう。そんな時、郷里の自然、光景が必ず心を癒してくれる事でしょう。いつか、興部町を訪ねます。元気をいただきました。ありがとうございました。』

(追) 3年生の皆さん、体に留意をされ受験、頑張ってください。 札幌市西区在住 塾教師です。』

～塾の先生と言うこともあり、中学生の将来に夢と現実の辛さも踏まえた温かいメッセージを頂きましたことに、私からも厚くお礼を申し上げます。3年前から興部中学校3年生の皆さんを「興部PR大使」として任命しています。これは、札幌市で自分の住む町のPRをすることも大切な取り組みではありますが、自分の住む町のことをまずはよく知ってもらう事に重きを置いています。ご協力いただいている中学校の先生方にも感謝です。お便りを頂いた塾教師さんありがとうございました。

12月12～14日(土・日・月)

産業振興課の職員3名と茨城県阿見町に行ってきました。阿見町は茨城県の南端で霞ヶ浦沿岸の町で隣には土浦市や大仏で有名な牛久市などの主要都市に挟まれた面積70km²と興部町の5分の1と小さな町ですが、近年高速道路のインターチェンジが出来た事から、工場や物流施設が次々に進出して人口も増え続けている町で、現在5万人弱の人口を抱える一方、歴史のある農業やワカサギ漁などがある町です。この町に昨年11月に、主にプロセスチーズやマーガリンを製造する雪印メグミルク阿見工場が完成しました。また同時に東洋一と言われる規模で、最先端のロボット技術などを駆使した物流センターも完成し、輸入する乳製品原料をはじめ、道内工場からも乳製品の大半がこのセンターに集積・保管され国内に配送されます。実は、十数年前から別海・標茶・中標津・大樹・幌延そして興部の6町で雪印乳業を応援する懇談会を結成し、年一回社長をはじめ会社幹部との交流を続けています。2年前に阿見の天田町長をこの懇談会に招いたことから首長交流が始まり、今年12月に「あみプレミアムアウトレット」で北海道フェアを行いたいとの提案が町長からありました。現在この懇談会の座長を私が務めていることから、私から各町に呼びかけそれぞれ商品を出すことになり、代表して私が出席してまいりました。3日間に亘り町長さん議長さんをはじめ役場職員の皆様に心のこもった歓迎を受けました。阿見町は米に始まり、野菜・落花生・筍・さつま芋・レンコンなどと、あらゆるものが栽培できますが海が有りませんので、興部から持って行った毛ガニやサケの山漬、イクラなどがあつという間に売り切れてしまい、お客様にお詫びしなければならぬ状況でした。この様な事から、阿見町長と来年以降も交流を続けて行こうとお約束することが出来、本町でも阿見町のお米や野菜類を販売させてもらうことを私から提案させて頂き、心よく了解を頂きました。まだ始まったばかりの町の交流ですが、雪印メグミルクのご縁により始まった交流ですから大切に、それぞれの特産物の販売や官民相互の交流を少しずつ深めて行きたいと考えています。阿見町の皆様、本当にお世話になりました。これからも仲よく交流しましょう！

さて、今年最後の町長日誌となりました。今年には新病院開院、選挙など様々な事がありました。私も4期目のスタートとなり沢山の応援やご指導を頂きましたことに心からお礼を申し上げます。例年同様、新年の御挨拶は広報をもって代えさせて頂きますのでご理解ください。皆様、良いお年をお迎えください。では、また来年。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。